

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、改善目標等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1階には運動場、2階にはホールがあり、利用定員10名が伸び伸びと活動できるスペースがあります。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準を満たしています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			各室内で”静”と”動”の空間を作り、個々の障害や発達に合わせた環境づくりをしています。完全なバリアフリー化ではないですが階段に手すりを設け、事故や怪我に繋がらないよう十分配慮しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			支援終了後、開始前の掃除・消毒をしています。また玩具は直接目に触れる場所には置かず、活動に集中できるよう収納に配慮しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間でその都度話し合いを実施し、改善に努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			実施し、職員も閲覧・把握し業務の改善に努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和2年5月開所だったので今回が初めての公開です。ホームページで公開(予定)しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は利用者と職員の評価のみとなっていますが、今後第三者委員会の選任を行い外部評価を行えるようにしていきたいです。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内研修や専任の講師に来てもらい研修を行っています。今はコロナ禍にある為、今後はオンライン研修等も視野にいれていきたいです。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			見学や体験等の際に子どもの様子を見ながら保護者と話し合える環境づくりをし、アセスメントを行っています。又、児発管と支援員が子どもと保護者のニーズや課題を分析し、会議を行ったうえで個別支援計画の作成を行っています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			施設で作成した発達検査で行う場合もありますが、多くは病院受診した際の発達検査表をもとに把握し、支援を行っています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			個々の発達段階やニーズ、家庭環境や地域との関わりを考慮し、具体的な支援内容を設定しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			個別支援計画に基づき、その都度個人の成長や家族の意向を取り入れながら支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員で分担して作成しています。管理者や他の職員の意見を取り入れ、チームで行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			職員一人ひとりが活動内容を考慮し、活動プログラムの立案を行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑩	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			計画立案時から、個別活動と集団活動の整合性を持たせながら適時支援計画の作成と修正を行っています。
	⑪	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝申し送りを実施し、利用児について必要な情報の共有や職員の役割についての確認を行っています。
	⑫	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その日の支援内容の振り返りを行い、業務の改善に努めています。
	⑬	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			正しく記録を作成し、ミーティング時やその都度話し合いをし、改善につなげています。
	⑭	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			最長で6ヶ月の間にモニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っていますが、状況に応じて更新日を早める等の対応を行っています。
	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理者・児童発達管理責任者が参加しています。
	⑯	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関への訪問や電話等で連携を図り、適切な支援を行っています。
	⑰	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			受け入れなし
	⑱	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			受け入れなし
	⑲	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	情報共有の予定はありますが、まだ実施に至っていません。
	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			学校訪問や関係機関との支援者会議を行っています。
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			施設内環境を整え会議を行い、電話等で細やかな情報共有や助言を受けています。
	㉒	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	コロナ禍であるため厳しいが、今後検討していきたいです。

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			関係機関への訪問を行っていますが、コロナ禍で中止になってしまった会議もあります。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートの活用や、送迎時に利用児の様子を伝えていきます。必要に応じて電話等で情報共有や意見交換を行っています。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			関係機関と連携を図り、適切な支援を行うようにしています。
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしています。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			入所前のアセスメントや定期的に行うモニタリングの際に保護者の方と意見を出し合いながら行い同意を得ています。
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			モニタリングの際に細やかな話し合いを行い、保護者の思いを受け止めると同時に適切な助言を行い、支援につなげています。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	コロナ禍の為難しいが、今後検討していきたいです。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			全職員で話し合い、出来る限り迅速に対応できるよう体制を整えています。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月おたよりの発行、又予定表にて行事のお知らせをしています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報記載の書類等は鍵付きのロッカーに入れ、職員以外見る事ができないように保管しています。
	③9	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			連絡ノートや電話でのやりとりの他に、交換記録ノートのようなやり取りを行っています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	個人情報の問題や、保護者が望んでいない場合もあるので積極的には機会を設けていません。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を行っています。
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			契約時に記入漏れがないか再度確認し、子どもの状況を把握しています。

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			契約時に保護者の方を介して非常時の対応、また診断書や薬表等のコピーをいただき、全職員で把握し常に意識して業務に努めています。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、全職員で共有しています。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待を防止するための研修を受け、職員間で共有しています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		現在の利用者に対し、実際に身体拘束を行うことはありません。支援計画に記載する事案もありません。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。